



2023年3月期 第3四半期

決算説明資料

---

2023年1月27日（金）

すべてのひとに資産形成を。

# 1. 決算サマリー

## 第3四半期の営業利益は915百万円、前年比▲781百万円（▲46%）と減少 （下表4行目a-c列）

- ▶ 純営業収益は、委託手数料等の減少を主因に、前年比減少。
- ▶ 販管費は、米国株等の新サービスの積極的なリリースにより、前年比増加。

	単四半期			累 計		
	a	b	c	d	e	f
単位：百万円	前年比			前年比		
1 営業収益	5,230	▲211	▲4%	15,264	+62	+0%
2 純営業収益	4,515	▲312	▲6%	13,316	▲134	▲1%
3 販管費	3,600	+469	+15%	10,374	+1,084	+12%
4 営業利益	915	▲781	▲46%	2,941	▲1,219	▲29%
5 経常利益	1,266	▲451	▲26%	3,220	▲912	▲22%
6 当期純利益	894	▲292	▲25%	2,326	▲585	▲20%
単位：億円						
7 二市場1日個人売買代金	17,743	+1,670	+10%	16,198	+766	+5%
8 当社1日売買代金	1,312	+31	+2%	1,276	+38	+3%

※ 単四半期の各計数は、過年度遡求修正反映前。

※ 「二市場1日個人売買代金」及び「当社1日売買代金」には、ETF、REITを含む。

## 2. 純営業収益

### 第3四半期の純営業収益は4,515百万円、前年比▲312百万円（▲6%）と減少 （下表1行目a-c列）

- ▶ トレーディング損益がFXの業容拡大により好調も、委託手数料等が減少。
- ▶ 総合口座数は好調に推移し、150万口座を突破。顧客基盤は順調に拡大。

		単四半期			累 計		
		a	b	c	d	e	f
		前年比			前年比		
1	純 営 業 収 益 百万円	<b>4,515</b>	▲312	▲6%	<b>13,316</b>	▲134	▲1%
2	委 託 手 数 料 百万円	<b>1,382</b>	▲171	▲11%	<b>4,160</b>	▲53	▲1%
3	ト レ ー デ ィ ン グ 百万円	<b>746</b>	+202	+37%	<b>1,915</b>	+777	+68%
4	金 融 収 支 百万円	<b>1,918</b>	▲84	▲4%	<b>5,575</b>	▲895	▲14%
5	そ の 他 百万円	<b>467</b>	▲258	▲36%	<b>1,664</b>	+37	+2%
6	総 合 口 座 数 千口座	<b>1,508</b>	+148	+11%	<b>1,508</b>	+148	+11%
7	新 規 口 座 獲 得 数 千口座	<b>31</b>	▲0.9	▲3%	<b>108</b>	+9	+10%
8	店 頭 F X 口 座 数 千口座	<b>102</b>	+14	+17%	<b>102</b>	+14	+17%
9	N I S A 口 座 数 千口座	<b>242</b>	+29	+14%	<b>242</b>	+29	+14%
10	株 式 売 買 代 金 兆 円	<b>8.1</b>	+0.07	+1%	<b>23.6</b>	+0.7	+3%
11	店 頭 F X 売 買 代 金 兆 円	<b>28.8</b>	+13.7	+92%	<b>78.7</b>	+39.0	+98%
12	期 末 預 り 資 産 額 兆 円	<b>2.8</b>	+0.1	+5%	<b>2.8</b>	+0.1	+5%
13	信 用 取 引 平 均 残 高 億 円	<b>2,377</b>	▲149	▲6%	<b>2,376</b>	▲169	▲7%

※ 「委託手数料」「トレーディング」は本来営業収益だが、比較便宜のため純営業収益の内数に表示。  
 ※ 単四半期の各計数は、過年度遡求修正反映前。

### 3. 販売費及び一般管理費

第3四半期の販管費は3,600百万円、前年比+469百万円（+15%）と増加（下表1行目a-c列）

➤ 米国株等の新サービスリリースに伴い、取引関係費や不動産関係費（器具備品費）が、前年比増加。

	単四半期			累 計		
	a	b	c	d	e	f
単位：百万円	前 年 比			前 年 比		
1 販 管 費	3,600	+469	+15%	10,374	+1,084	+12%
2 取 引 関 係 費	1,323	+245	+23%	3,831	+667	+21%
3 うち広告宣伝費	230	+54	+31%	674	+148	+28%
4 人 件 費	583	+34	+6%	1,710	+112	+7%
5 不 動 産 関 係 費	739	+168	+30%	2,041	+273	+15%
6 事 務 費	204	▲2	▲1%	611	▲33	▲5%
7 減 価 償 却 費	578	+32	+6%	1,731	+105	+7%
8 貸 倒 引 当 金	-	-	-	-	-	-
9 そ の 他	170	▲9	▲5%	448	▲41	▲8%

※ 「不動産関係費」は、不動産費と器具備品費（システム経費）の合計。

# (参考) 四半期損益推移

単位：百万円	2020年度				2021年度				2022年度		
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
1 営業収益	4,943	4,629	4,890	4,979	4,877	4,881	5,442	4,622	5,042	4,990	<b>5,230</b>
2 純営業収益	4,048	3,867	4,066	4,485	4,203	4,419	4,827	4,223	4,297	4,503	<b>4,515</b>
3 委託手数料	1,447	1,138	1,280	1,563	1,156	1,503	1,553	1,567	1,382	1,395	<b>1,382</b>
4 トレーディング	421	322	323	374	286	307	543	464	550	617	<b>746</b>
5 金融収支	1,851	2,101	2,107	2,197	2,384	2,084	2,002	1,804	1,850	1,806	<b>1,918</b>
6 その他	327	304	355	350	376	524	726	386	514	682	<b>467</b>
7 販管費	3,992	3,103	3,185	3,561	3,065	3,093	3,130	3,259	3,329	3,445	<b>3,600</b>
8 営業利益	55	764	880	923	1,138	1,326	1,696	964	968	1,058	<b>915</b>
9 経常利益	61	769	897	932	1,164	1,251	1,717	984	987	967	<b>1,266</b>
10 四半期純利益	▲274	527	583	714	795	953	1,187	680	659	771	<b>894</b>
※ いずれも過年度遡求修正反映前の数値。											
11 株式売買代金	8.3	7.6	8.2	9.1	7.1	7.6	8.0	8.5	7.5	7.8	8.1
12 信用取引期末残高	2,193	2,599	2,182	2,997	2,524	2,838	2,469	2,826	2,314	2,957	2,664

※ 「株式売買代金」は単位：兆円、「信用取引期末残高」は単位：億円。  
 ※ 「二市場 1 日個人売買代金」及び「当社 1 日売買代金」には、ETF、REITを含む。

## トピックス1 ～ 格付情報

# 4. 業界最高格付 JCRが引上げ R&Iも新規取得 (本日公表)

## ネット証券会社の中で最高水準の格付 (下表) ※1

- 日本格付研究所 (JCR) は長期・短期ともに**1段階引上げ**。1月11日公表。
- 格付投資情報センター (R&I) では**新規取得**。本日27日公表。
- 高格付は資金調達面での圧倒的優位性や、信用力重視のお客さまからのご支持の源泉。

### 【長期系の格付】 ※2

格付	日本格付研究所 (JCR)	格付投資情報センター (R&I)
	種別：長期発行体	種別：発行体 <b>新規</b>
<b>AA-</b>	<b>auカブコム証券</b>	<b>auカブコム証券</b>
A+	<b>1段階アップ</b>	
A	SBI証券	SBI証券
A-		楽天証券
BBB+	マネックス証券	松井証券
BBB		
未取得	楽天証券 松井証券	マネックス証券

### 【短期系の格付】 ※2

格付		日本格付研究所 (JCR)	格付投資情報センター (R&I)
JCR	R&I	種別：短期発行体	種別：短期債務/CP <b>新規</b>
<b>J-1+</b>	<b>a-1+</b>	<b>auカブコム証券</b>	<b>auカブコム証券</b>
J-1	a-1	<b>1段階アップ</b>	SBI証券
J-2	a-2	マネックス証券	松井証券
J-3	a-3		
NJ	b		
D	C		
未取得		SBI証券 楽天証券 松井証券	楽天証券 マネックス証券

※1 2023年1月時点のauカブコム証券調べ。

※2 「長期系の格付」及び「短期系の格付」の表記は当社による比較の便宜上のも。種別の定義は格付会社のホームページ等をご参照ください。

※3 JCRの格上げに関する当社プレスリリースは[こちら](#)、R&Iの格付に関する当社プレスリリースは[こちら](#)。

## シンジケート方式による総額300億円のコミットメントライン契約 (**今回初公表**)

- 三菱UFJ銀行をアレンジャーとして2021年9月及び2022年9月の2回に分けて契約締結。同行含めてのべ18社がシンジケートに参加。
- **1年契約で最大4回の延長条項**付き。最長5年間の安定的調達が可能な契約形態。
- **通常時は完全に空き枠**として確保。突発的な環境急変に備える万全の態勢。
- **長期借入は完済**し、長期金利上昇局面における借り換え時の調達コスト増加を回避。

## アンコミットメントの貸越枠も**総額1,100億円**を確保

- **通常時はほぼ空き枠**とし、市場調達環境の悪化に備えるもの。

通常時の資金調達は1,500億円程度。コール資金及びコマーシャルペーパーにて金利メリットを享受

- 第3四半期(3か月)の支払利息は**8百万円(単純換算で平均金利は0.02%台)**。日本銀行のYCC修正以降も概ね安定的。
- 高格付により、金利面での優位性に加えてボリューム確保も安定的。

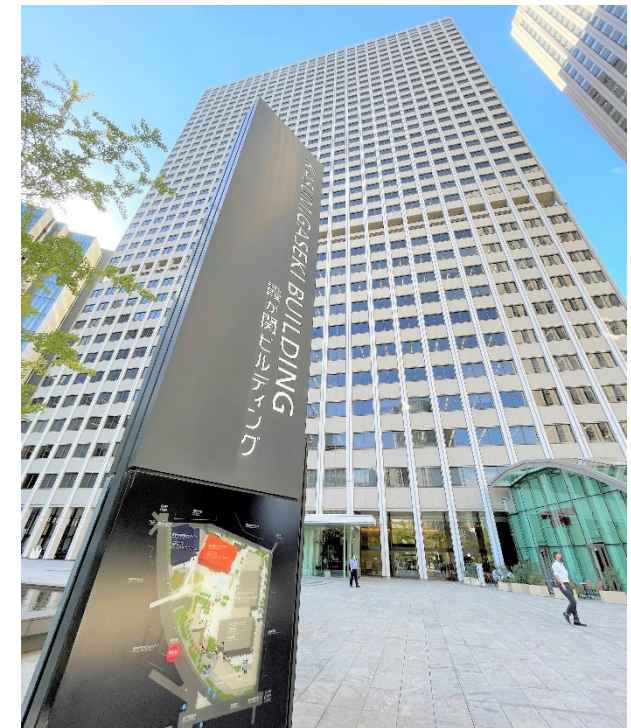
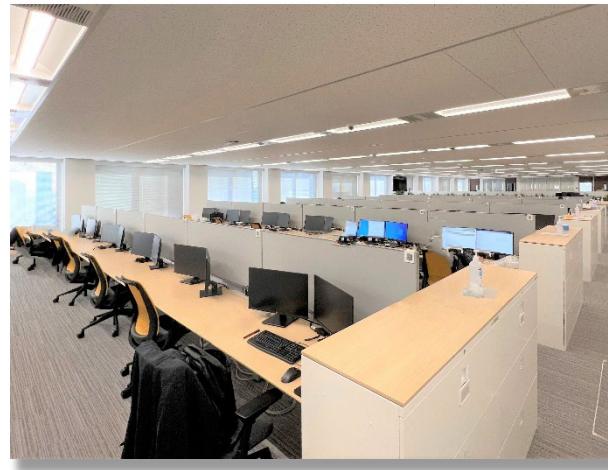
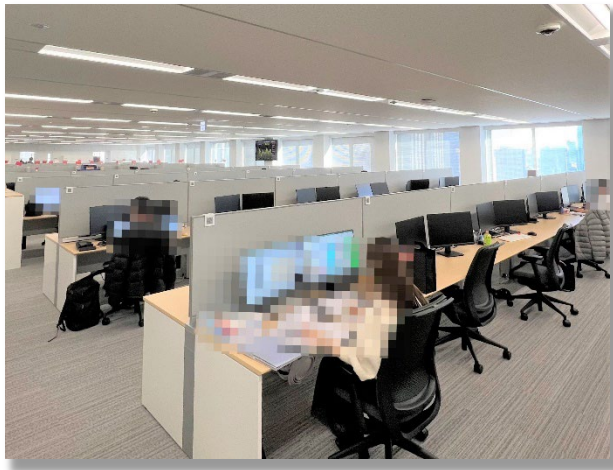


## トピックス2 ～ 本社移転

## 5. 本社移転

日本初の超高層ビルとして知られる霞が関ビルディング（東京都千代田区霞が関）24Fに  
2022年12月19日に移転

- レイアウト設計のコンセプトは3つ。  
「出社・在宅のミックス型勤務」  
「コミュニケーション活性化」  
「役職員のエンゲージメント向上」
- 555坪（1,837㎡）※のフロアは、①執務エリア、②会議室エリア、③コミュニケーション・スペース、④リフレッシュ・スペース等で構成。
- 執務エリアは**フリーアドレス**を採用。  
その日の働き方に合わせて自由に座席を選択でき、在宅・出社勤務の状況が一目で分かるツールを活用。



プレスリリースは[こちら](#)。

※ 小数点以下切り捨て。



# (参考) 生産性向上に向けた新規性の取組み

通常の会議室とは別に、スモールミーティング用のファミリーレストラン・タイプのベンチやカウンターを設置。よりカジュアルな形での意見交換を可能に。



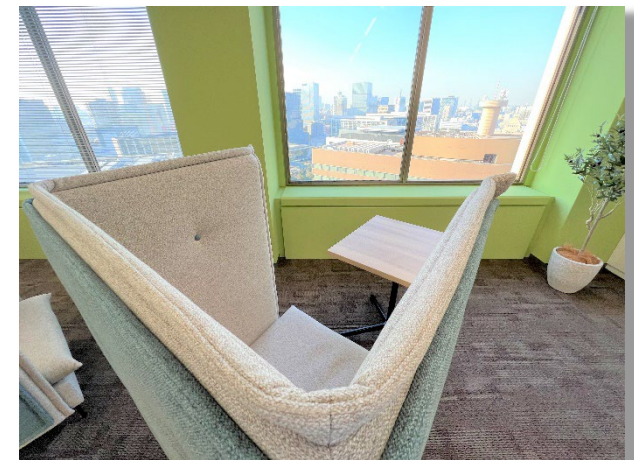
特に、一人又は少人数で集中したい時のために個別ブースを設置。在宅ワークを超える効率性で出社の動機付けにも。



(右から2つは共に一人用)



仕事でも休憩でも使える、周囲の目がないところで一人、落ち着ける空間として、ボックス型カウチも設置。



# プレスリリース

# 6. プレスリリース

au カブコム証券 × au じぶん銀行  
A member of MUFG

投資信託の注文が **より便利に** /

auマネーコネクに **自動入金サービス** を追加!

2022年11月18日

auカブコム証券株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：二宮 明雄、以下「auカブコム証券」）とauじぶん銀行株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：石月 貴史、以下「auじぶん銀行」）は2022年11月19日より、両社が提供する「auマネーコネク」に、投資信託の購入時（積立取引は除く）にauじぶん銀行の円普通預金口座からauカブコム証券口座に自動で不足金額が入金される「自動入金サービス」を新たに追加いたします。詳しくは[こちら](#)。

「auマネーコネク」は既に15万人以上のお客さまからご好評をいただいておりますが、自動入金サービスを利用することで、お客さまご自身による入金操作が不要となり、手間なくスムーズな投資信託の購入を実現します。また、2019年1月よりご提供している自動出金サービスとあわせて利用することで、これまで以上にauじぶん銀行口座とauカブコム証券口座間の資金移動が簡易となり、auじぶん銀行円普通預金の通常金利年0.001%(税引前)が年0.10%(税引後年0.07%)となる「[auマネーコネク優遇プログラム](#)」の優遇金利特典でより効率的な資金運用が可能です。

自動入金サービスではauじぶん銀行に残す金額を、自動出金サービスではauカブコム証券に残す金額をそれぞれauカブコム証券のマイページにて設定することができます。

auじぶん銀行 通常金利の **100倍** 円普通預金優遇金利 **年0.10%** (税引後 年0.07%)

auカブコム証券

投資信託の注文時に資金が不足したら、auカブコム証券へ自動入金

自動入金 手数料無料

自動出金 手数料無料

お取引に使っていない余剰資金は毎日auじぶん銀行へ自動出金

投資信託などのお取引

自動入金サービスは11月19日（日中帯）のサービスリリース以降、順次設定および利用が可能となる予定です。また、自動入金サービスは2023年3月頃に国内現物株式買付と投信つみたてでも利用可能となる予定です。

## 自動入金サービスの概要

サービス概要	投資信託の購入時（積立取引は除く）にauじぶん銀行の円普通預金口座から自動で不足金額が入金されるサービスです。auじぶん銀行に残す金額を設定すると、これを超える部分が自動入金される対象となります。不足金額がauじぶん銀行の円普通預金口座から自動入金できる金額を上回る場合は、入金が行われません。1度の入金額は上限10億円未満となります。
利用方法	auカブコム証券のマイページ→設定・申込→サイト機能設定→auマネーコネク 上記画面から利用できます。
入金手数料	無料
利用可能金融機関	auじぶん銀行
利用可能チャネル	パソコン、スマートフォンからauカブコム証券へログインして設定が可能です。
備考	以下のお客さまは利用できません。 ・信用口座を開設されているお客さま ・最大買付可能額（後金制）を選択されているお客さま ・リアルタイム口座振替をauじぶん銀行以外で有効にされているお客さま ※自動入金サービスは夜間23:00～翌0:15頃までの間、メンテナンスを実施します。メンテナンス時間中は、自動入金サービスを利用できません。 ※auじぶん銀行スマートフォンアプリでのお取引は自動入金サービスの対象外です。

プレスリリースは[こちら](#)。



各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧ください。

- ※ 証券投資は、価格変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は必ず約定するものではありません。お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- ※ 投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書商品毎 および目論見書補完書面投資信託をよくお読みください。
- ※ 信用取引・指数先物取引・指数オプション取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える 大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。
- ※ 外国為替証拠金取引FXは、取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。又、外国為替証拠金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。
- ※ 外国債券の価格は、金利水準の変動により上下するため、償還前に売却する場合には、元本損失が生じることがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。外国債券は、為替相場の変動等により、元本損失が生じたり、債券を発行する組織発行体が所属する国や地域、取引がおこなわれる通貨を発行している国や地域の政治・経済・社会情勢に大きな影響を受けたりするおそれがあります。外国債券を購入する場合は、委託手数料はかかりませんが、売買における売付け適用為替レートと買付け適用為替レートには差額があります。上記、適用為替レートは債券の起債通貨によって異なり、実勢レートに基づき当社が決定します。
- ※ お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- ※ 各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ<https://kabu.com/cost>等をご参照ください。手数料には消費税が含まれています。
- ※ 掲載情報の最新情報は当社ホームページ<https://kabu.com/>にてご確認ください。
- ※ ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちら (<https://kabu.com/company/info/escapeclause.html>) をご参照ください。

本資料に記載されている事項は、資料作成時における当社の見解であり、その情報の正確性を保証またはお約束するものでございません。今後、予告なしに変更することがございます。

1	企業・開示情報	<a href="https://kabu.com/company/">https://kabu.com/company/</a>
2	決算短信・決算説明資料	<a href="https://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.html">https://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.html</a>
3	口座数・約定情報等の推移	<a href="https://kabu.com/company/monthly_disclosure/order/default.html">https://kabu.com/company/monthly_disclosure/order/default.html</a>
4	顧客投資成績（信用評価損益率）の推移	<a href="https://kabu.com/company/monthly_disclosure/score/default.html">https://kabu.com/company/monthly_disclosure/score/default.html</a>
5	システムレポート	<a href="https://kabu.com/company/monthly_disclosure/system/default.html">https://kabu.com/company/monthly_disclosure/system/default.html</a>

## auカブコム証券株式会社

金融商品取引業者登録：関東財務局長（金商）第61号 銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第8号 電子決済等代行業者登録：関東財務局長（電代）第18号

加入協会（加入順）：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本S T O協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会